

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	02	03	0401	生活道路整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-2	生活基盤の充実			
	施策	1	道路環境の充実			
目的	地区要望を踏まえた道路の整備					
対象	整備が必要な市道、市道利用者（車両、歩行者、沿線住民）					
意図	安全で快適な通行が可能になる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○平成26年度(70路線) 新設改良(44路線)、現道舗装(13路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(1路線)、防雪柵(2路線)						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	新設改理事業実施路線	路線	計画	54	32	
			実績	54	45	
②	現道舗装事業実施路線	路線	計画	27	7	
			実績	26	13	
③	側溝整備事業実施路線	路線	計画	11	4	
			実績	11	10	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	新設改良整備（完成）延長	km	目標	5.0	2.9	
			実績	4.3	2.7	
②	現道舗装事業（完成）延長	km	目標	3.0	0.8	
			実績	3.7	1.7	
③	側溝整備事業（完成）延長	km	目標	1.0	0.4	
			実績	1.1	1.3	
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 地域からの要望路線及び施策により整備を要する路線、完成する路線数、事業費等を検討し、事業路線数と完成延長を決定しているため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市管理道路の整備のため、妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	本事業は、市道の新設改良、側溝整備を行うものであり、整備後は地域要望や道路環境を満足させた水準となることから、さらなる向上は難しい。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえでは、計画・設計・説明会・関係機関協議・用地取得・工事積算・工事監督業務等多岐にわたるが、現在でも効率的な事業の執行に努めている。 また、外部委託を行なうなど人件費の削減に努めているが、守秘義務等の問題があり、外部委託にも限界がある。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	市道は不特定多数の人や車が利用するものであり、受益者を特定することは出来ない。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
	総合評価 …上記評価結果の総括 道路整備に対する要望が多数寄せられている状況から、今後も継続的な整備が必要である。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	08	02	03	0401	生活道路整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		945,728	835,661		△ 110,067
財源内訳	国・県	325,747	242,377		△ 83,370
	地方債	429,400	474,300		44,900
	その他	37,831	46,691		8,860
	一般財源	152,750	72,293		△ 80,457

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部経営方針における目標

安全、安心で快適な生活基盤の充実に努めます。

事業開始の背景・経緯

交通の中心が車になったことにより、道路整備が求められるようになった。

事業概要

○平成26年度(70路線)

新設改良(44路線)、現道舗装(13路線)、側溝整備(10路線)、融雪設備整備(1路線)、防雪柵(2路線)

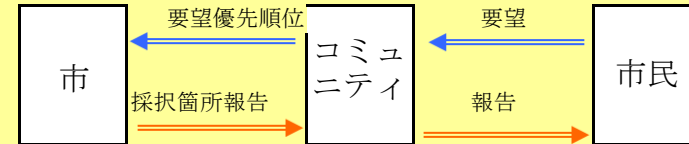
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ・工事の計画・設計は、地域住民の意向を十分把握し、実情に即したものとなるよう、柔軟に見直しを行なうなど、地域のニーズに応えるとともに、併せてコストの縮減に努める。
- ・要望路線中に家屋がない場合には必要性を再確認し、延長の縮小・整備内容の変更などを提案することにより、効率の良い整備事業に努める。

担当部署 部名 建設部 課名 道路課 担当係長 筑後貴之 内線 574

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 新設改良 事業費 600,685千円
44路線 完成延長 L=4.84km
(うち繰越分 事業費 50,833千円)
3路線 完成延長 L=0.83km
- 現道舗装 事業費 63,526千円
13路線 完成延長 L=1.65km
- 側溝整備 事業費 90,093千円
10路線 完成延長 L=1.32km
- 雪寒対策 事業費 81,357千円
3路線